

名誉会員

2013 年(平成 25 年) 6 月 18 日(火) 会場：大手町サンケイプラザ

高 橋 陽 一

(建設)



1. 略歴

技術士合格 (S42)
技術士登録・日本技術士会入会 (H5)
北海道支部幹事 (S58 ～ H14)
北海道技術士センター理事 (S58 ～ H6)
北海道技術士センター有資格者増強委員長 (H5 ～ H6)
北海道技術士センター副会長 (H7 ～ H8)
北海道技術士センター会長 (H9 ～ H14)
北海道支部総務委員長 (H9 ～ H10)

2. 名誉会員に推挙されて

北海道本部からのご推挙により、6 月の総会において名誉会員を拝受しました。誠に名誉なことであります。北海道の支部、センターの揺籃期から今日の隆盛までの長い間、技術士の存在意義確保の為に多くの議論をして参りました。在任中に北海道が担当した第 14 回 (S62) 及び第 22 回 (H6) 全国大会の大成功は忘れ難い印象です。一方、「道路五月会」(開発局技術士の会 S60 ～) の結成など会員間の情報交信の為に側面からの組織強化にも努力を続けております。私は元センター及び支部(現本部)活動を通じて、北海道の土質・基礎建設技術者として常に次の点を行動基準として来しました。

(1) ベストワンよりオンリーワンの工法を追求する。ベストとは人真似一番の意である。

(2) 施工時の安全を最も重視した最少コストの工法を優先する。

の 2 点です。成功例は少なく、未だに構想中の工法もあります。

原発周辺の汚染水止水工法などになぜ建設技術士の意見を聞かぬのか、最近はお手並拝見の気分で真面目(?)に「ひとり検討」しています。技術に終りはありません。

会長表彰

2013 年(平成 25 年) 6 月 18 日(火) 会場：大手町サンケイプラザ

阿 部 均

(建設・総合技術監理部門)



1. 略歴

技術士登録 (H8)
(社)日本技術士会入会 (H10)
北海道技術士センター理事 (H17 ～ H18)
北海道支部(現本部)技術士試験委員会委員 (H10 ～ H15)
北海道支部(現本部)幹事 (H16 ～ H22)

2. 会長表彰を受賞して

このたび、北海道本部のご推薦により日本技術士会長表彰を受賞しました。ご推薦いただいた斉藤本部長はじめ関係の皆さまに深く感謝申し上げます。

日本技術士会入会後は技術士試験の試験監督員を担当したのが最初の活動ですが、その後、技術士試験委員会の久保さん、池田さん、中村さんと 3 代の委員長の補佐役として、平成 16 年から 7 年間幹事を務めました。

幹事就任後は技術士試験委員会運営の透明化を目的に、大谷事務局長、委員長、委員の皆さまの暖かいご支援を得て、規約の制定、登録試験監督員制度の創設などの組織改革に取り組みました。また北海道試験会場におけるミスや不正のない運営、冷房など受験環境の改善にも役立てたと考えています。勤務先の業務と幹事との兼務で多忙でありましたが、多くの技術士の皆さまとの人脈を形成できたことは現在でも貴重な財産となっています。これからも、微力ながら多くの技術士の輩出、会員の増強に努めるとともに、日本技術士会の発展に貢献していく所存ですので、皆さまのご指導よろしくお願い申し上げます。

会長表彰

大 島 俊 之

(建設・総合技術監理部門)



1. 略歴

工学博士 (S58)
技術士登録 (H11)
(社)日本技術士会入会 (H12)
北海道技術士センター理事 (H15 ～ H18)
北海道支部 (現本部) オホーツク技術士会代表 (H17 ～ 現在)
北海道支部 (現本部) 副本部長 (H21 ～ H24)

2. 会長表彰を受賞して

この度、北海道本部のご推薦により、会長表彰をいただきました。ご推薦をいただいた本部長をはじめ関係の皆様深く感謝申し上げます。

いただいた表彰の貢献の内容は、地方における技術者養成に対する貢献と、日本技術士会北海道本部における副本部長としての貢献というものですが、いずれもそれほど目立った貢献ということではありませんので、大変恐縮いたしております。東京での総会における表彰式では多くの立派な貢献をされた方々と一緒に受賞でき、身に余る光栄でした。特に名誉会員に推挙された高橋陽一先輩と一緒に受賞できたことも思い出になりました。

オホーツク技術士会 (旧称) のメンバーとは組織設立以来、多くの事業と一緒に実施してきました。私の今回の受賞はこのメンバー全員による貢献に対して受賞されたものと思います。深く感謝申し上げ、お礼申し上げます次第です。

渡 辺 宏

(森林部門)



1. 略歴

技術士登録 (S53)
(社)日本技術士会入会 (S64)
(社)日本森林技術協会 (S37 ～ H13)
森林部会幹事 (H6 ～ H14)
森林部会北海道支部副支部長 (H15 ～ H24)

2. 会長表彰を受賞して

この度、日本技術士会森林部会のご推薦により、会長表彰をいただきました。同部会長様、並びにこれまで私に関係して下さいました皆様方に厚く御礼を申し上げます。

私は平成6年以来、日本技術士会森林部会の幹事として、また平成14年に札幌に転居してからは、同部会と連携した形で設けられている森林部門技術士会の北海道支部副支部長として、会員の技術の向上、技術者の社会的責任の醸成などに努めてまいりました。

森林は、そのCO2の固定機能による地球温暖化防止や、水資源の涵養や山地災害の防止など人類の社会生活に大きな関わりを持っています。(勿論、森林を対象とした産業としての林業振興も重要な分野です)。

今後とも、私自身の技術研鑽を含めて、会員が更に真のプロフェッショナルな技術者となるよう、そしてそれらを通して日本技術士会が益々発展していきますよう寄与してまいりたいと思っています。